



厚岸町

防災
ハザードマップ

保存版

2022年2月

身を守るために的確な行動を!!



 災害用伝言ダイヤル

171

大規模な災害が発生し、安否確認等の電話によって電話回線が混雑し、電話が繋がりにくい状況でも、伝言の録音・再生により、被災地内の家族や親戚・知人等と連絡を可能にする「声の伝言板」です。

[illegible][illegible]

案内放送が流れます 被災地の方の電話番号を市外局番から

 携帯電話災害用伝言板サービス

大規模な災害が発生した場合、携帯電話各社のトップに「災害用伝言板」が追加され、自らの安否状態を登録することが可能になり、登録された伝言は、インターネットや携帯電話などから確認することができます。

※使用にあたっては、各携帯電話会社のホームページで確認しておきましょう。

※詳しい内容はNTTのホームページで確認してください。 **ホームページ** <https://www.ntt-east.co.jp/saigai/voice171/>

はじめに

災害から大切な命を守るため、日頃から地域の危険箇所を認識し、災害時の連絡方法や避難方法、防災用品などについて家庭や地域で話し合い、防災意識を高めて災害に備えましょう。

目 次 Contents

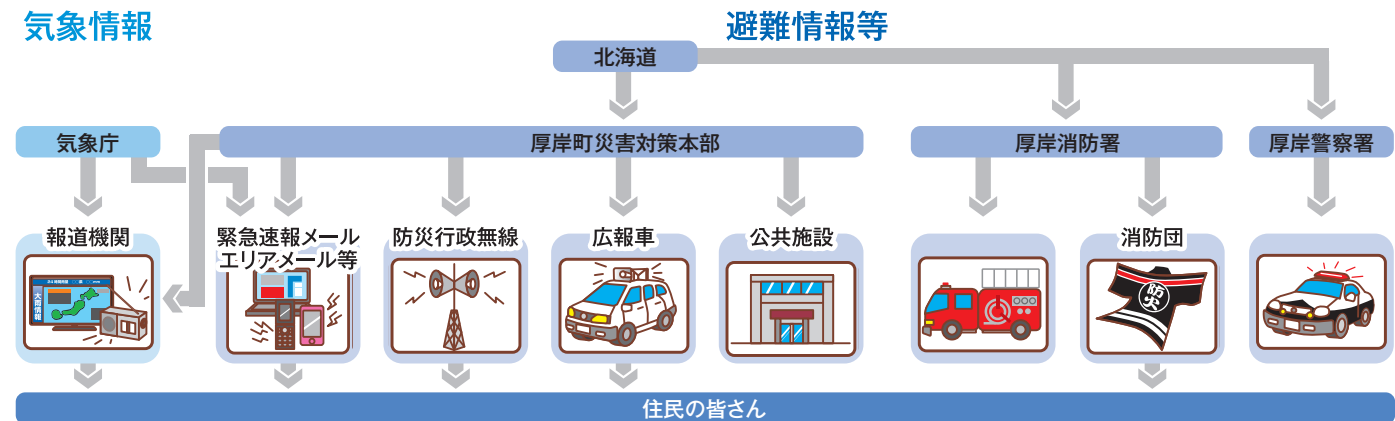
○避難施設一覧 37・38

○わが家の防災・緊急情報メモ 裏表紙

災害への備え

防災情報の伝達

気象情報
避難情報等
北海道



防災情報の入手

- 


■厚岸町ホームページ
<https://www.akkeshi-town.jp/bou>
厚岸町防災情報

- 


釧路地方気象台ホームページ
<http://www.jma-net.go.jp/kushiro/index.html>
 釧路地方気象台

水位
の情報

- 

■国土交通省「川の防災情報」
https://www.river.go.jp/index

- 


■北海道土砂災害警戒情報システム
<https://www.njwa.jp/hokkaido-sabou/>
 北海道土砂災害警戒情報システム

テレビ
ラジオ

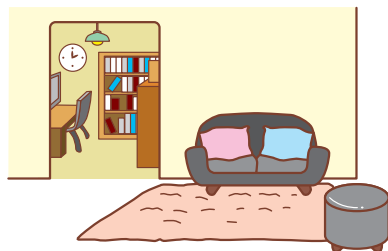
わが家の防災対策

家の中の安全対策

●事前に準備出来ているか、チェックしましょう。

！ 家の中に逃げ場としての安全な空間をつくる

部屋がいくつもある場合は、人の出入りが少ない部屋に家具をまとめて置く。無理な場合は、少しでも安全なスペースができるよう配置換えする。



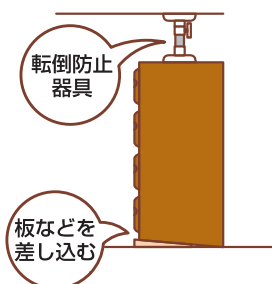
！ 寝室、子どもやお年寄りのいる部屋にはできるだけ家具を置かない

就寝中に地震に襲われると家具が倒れるおそれがあり危険。やむをえず置く場合は、なるべく背の低い家具にするとともに、寝ている場所に倒れないよう、また出入口をふさがないように、向きや配置を工夫する。



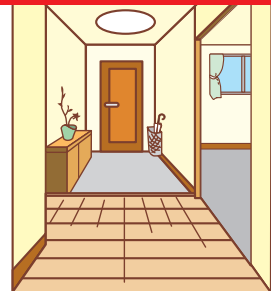
！ 家具の転倒を防ぐ

家具と壁や柱の間に遊びがあると倒れやすい。家具の下に小さな板などを差し込んで、壁や柱によりかかるように固定する。また、金具や固定器具を使って転倒防止策を万全に。



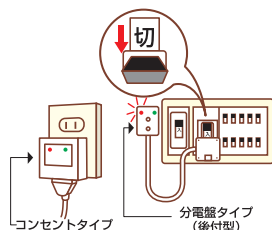
！ 安全に避難するため、出入口や通路にものを置かない

玄関などの出入口までの通路に、家具など倒れやすいものを置かない。また、玄関にいろいろなものを置くと、いざというときに、出入口をふさいでしまうことも。



！ 電気火災発生防止

地震による火災の原因の多くは電気が関連。電気ストーブや電気コンロの転倒や、停電復旧時の通電火災（破損した電気コードのショートによる出火など）がある。電気火災を防ぐためには、感震ブレーカーの設置が有効。



！ 手の届くところに防災品を備える

夜間就寝時、停電になると周囲の確認ができず危険。地震の場合はガラスが散乱したり、部屋に閉じ込められることもある。普段寝る場所から手の届くところに懐中電灯やスリッパ、ホイッスルを。

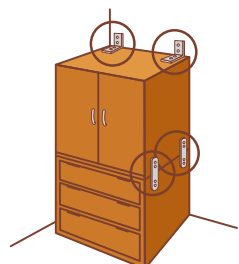


家具の転倒、落下を防ぐポイント

●事前に準備出来ているか、チェックしましょう。

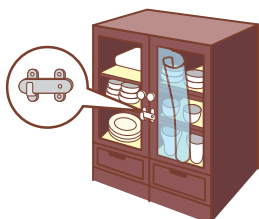
タンス・本棚

L字金具や支え棒などで固定する。二段重ねの場合はつなぎ目を金具でしっかり連結しておく。



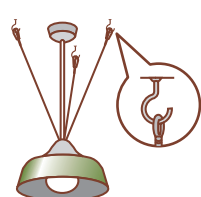
食器棚

L字金具などで固定し、棚板には滑りにくい材質のシートやふきんなどを敷く。重い食器は下の方に置く。扉が開かないように止め金具をつける。



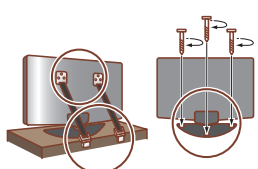
照明

チェーンと金具を使って数箇所止める。蛍光灯は蛍光管の両端を耐熱テープで止めておく。



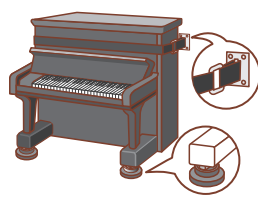
冷蔵庫

所定の取り付け場所（運搬用取っ手など）を転倒防止ベルトで壁や柱に固定する。



テレビ

テレビ台とテレビを直接固定するのが有効。脚などに専用の取り付け箇所がある場合はボルト等で取り付け、そうでないものは転倒防止ベルトなどで固定する。



ピアノ

本体にナイロンテープなどを巻きつけ、取りつけた金具などで固定する。脚には、すべり止めをつける。

避難行動ガイド

！ 警戒レベル3高齢者等避難や警戒レベル4避難指示が出たら、危険な場所から避難しましょう。

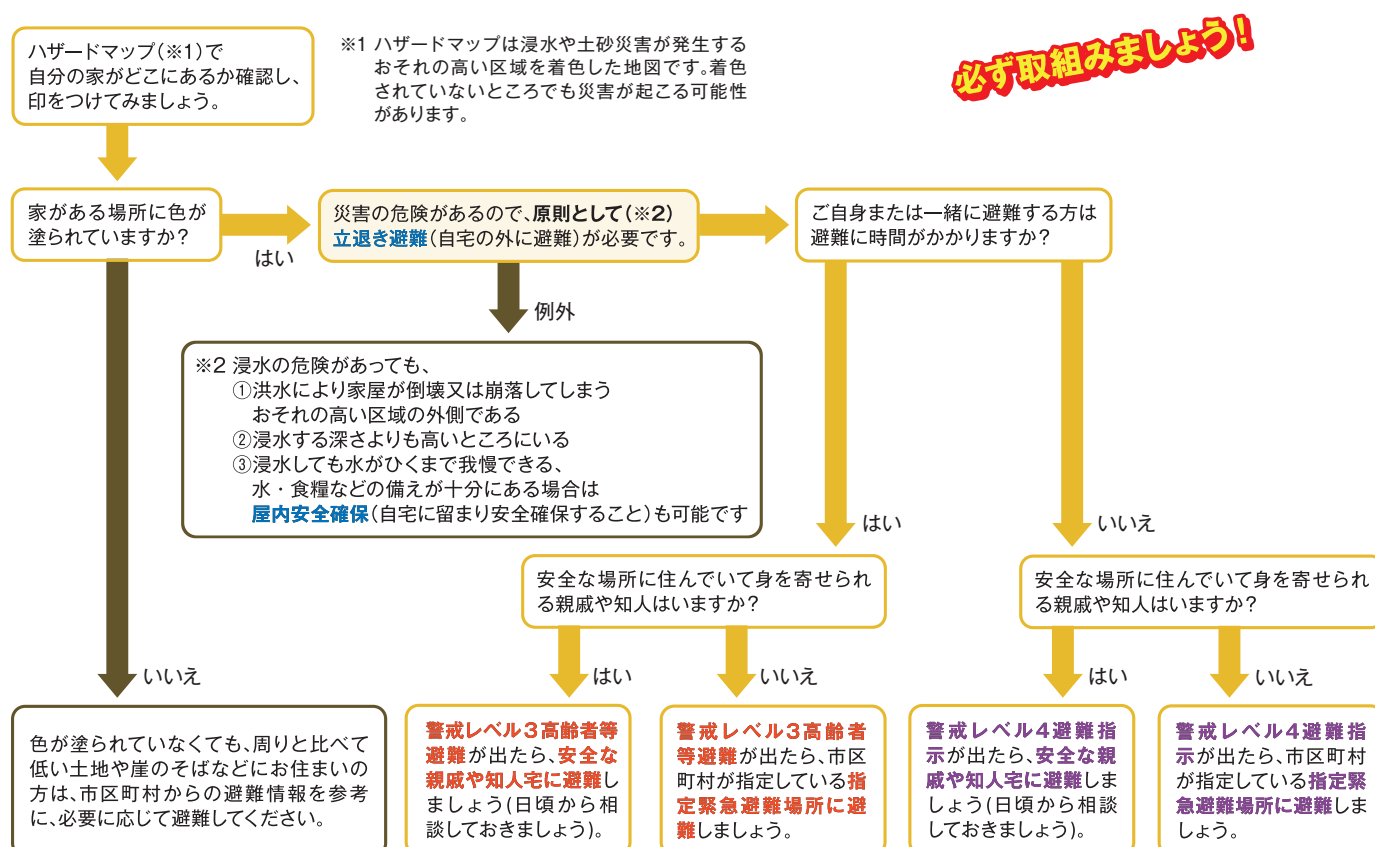
！ 避難とは難を避けることです。安全な場所にいる人は、避難場所に行く必要はありません。

！ 避難先は小中学校・公民館ではありません。安全な親戚・知人宅やホテル・旅館に避難することも考えてみましょう。

◆避難行動判定フロー

普段から確認 「自らの命は自らが守る」意識を持ち、自宅の災害リスクと、とるべき行動を確認しましょう。

●あなたがとるべき避難行動は？



自宅の外へ避難する際の留意点

！ 避難するときの服装

- ヘルメット、帽子等をかぶる。
- 非常持ち出し袋はリュックサックに入れて背負う。(両手が使えるように)
- 長袖・長ズボンを着用する。
- 軍手や手袋をはめる。
- 靴は底の厚い、履き慣れたものを着用する。
- やむをえず夜間に移動の際は懐中電灯を持つ。

！ 避難時のポイント

- 自宅を離れる前にもう一度火元を確認する。
- ガスの元栓を閉め、電気ブレーカーを落とす。
- 持ち出す荷物は最小限にする。
- 近所の人に声をかけ、複数人で行動する。
- 避難先へは、徒歩で移動する。(自動車、自転車はできる限り使用しない)
- 狭い道やブロック塀、自動販売機のそば、川べり、ガラスや看板の多い場所を避ける。
- 子ども、障がい者、高齢者など避難行動要支援者がはぐれないよう配慮をしながら避難する。

上記は一般的な避難留意点です。各災害に応じた留意点も、個別ページでご確認ください。

(ページ内の図表は内閣府ホームページより抜粋、編集)

ペットを飼っている皆さまへ

▶ 災害時のペットとの同行避難について

災害時、あなたとあなたの大事なペットを守るために、
いま、できることを考えましょう

飼い主がいま、やるべきことは？

- ワクチン接種や寄生虫の駆除など、健康面のチェックを
- 最低限のしつけや、ケージに慣らす訓練、マイクロチップなどによる所有明示を
- 住宅の災害対策や、フード、トイレシートなどのペットの避難セットの準備を
- ペットの受入れ対応を含め、事前に避難場所の確認を



もし被災してしまったら？

- 災害時にはペットを落ち着かせ、迷子にさせないように注意して、ペットとともに**同行避難**を

同行避難とは？

- 厚岸町から避難指示等が発令されたら、避難所などの安全な場所に避難してください。この時、飼っているペットと一緒に移動し、避難することを「同行避難」といいます。ペットがいるからという理由で避難しないことは、ペットだけではなく、**自身の安全も脅かすことにつながりますので、ペットと一緒に避難しましょう。**



避難所ではペットと一緒に過ごせるの？

- 避難所は多くの方が共同で避難生活を送る場所です。避難者の中には、動物を苦手とする方や動物アレルギーなどにより動物と一緒に過ごせない方もいます。また、コロナ禍では避難所のスペース確保がこれまで以上に必要となっており、ペット専用のスペースの確保も難しい状況です。このため、避難所の同じスペースでペットと生活する「同伴避難」は難しく、ペットの飼育場所は人の居住スペースと分ける必要があります。

★災害時に、大切な家族の一員であるペットを守るために、日頃からできる「備え」について考えましょう。



詳しくは、環境省「災害、あなたとペットは大丈夫？人とペットの災害対策ガイドライン＜一般飼い主編＞」をご覧ください。

(環境省ホームページをもとに加工して作成)

気象庁が発表する情報について

気象庁は、大雨や暴風などによって発生する災害の防止・軽減のため、
気象特別警報・警報・注意報などの防災気象情報を発表しています。

気象警報・注意報の種類

特別警報	大雨(土砂災害、浸水害)、暴風、暴風雪、大雪、波浪、高潮
警 報	大雨(土砂災害、浸水害)、洪水、暴風、暴風雪、大雪、波浪、高潮
注 意 報	大雨、洪水、強風、風雪、大雪、波浪、高潮、雷、融雪、濃霧、乾燥、なだれ、低温、霜、着氷、着雪
早期注意情報(警報級の可能性)	大雨、暴風(暴風雪)、大雪、波浪

土砂災害警戒情報について

大雨警報の発表中に、命に危険を及ぼす土砂災害がいつ発生してもおかしくない状況となったときに、対象となる市町村を特定して警戒を呼びかける情報で、北海道と気象台から共同で発表されます。
詳細な範囲については気象庁の「キキクル(危険度分布)」で確認できます。しかし、特に警戒区域周辺にお住まいの方は、実際の周囲の状況や雨の降り方にも注意し、土砂災害警戒情報が発表されていなくても、危険を感じたら、迷わず自主避難を行いましょう。



記録的短時間大雨情報について

大雨警報の発表中に、数年に一度程度しか発生しないような短時間の大雨が観測された時に、気象台から発表される情報です。
この情報が発表されたときは、お住まいの地域で、土砂災害や浸水害、中小河川の洪水害の発生につながるような猛烈な雨が降っていることを意味しています。実際にどこで災害発生の危険度が高まっているかを気象庁の「キキクル(危険度分布)」も合わせて確認してください。



特別警報をご存知ですか？ 特別警報の発表基準

現象の種類	基 準
大 雨	台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想される場合
暴 風	数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により
高 潮	暴風が吹くと予想される場合
波 浪	高潮になると予想される場合
暴風雪	数十年に一度の強度の台風と同程度の温帯低気圧により雪を伴う暴風が吹くと予想される場合
大 雪	数十年に一度の降雪量となる大雪が予想される場合

表中の“数十年に一度”の現象に相当する降水量等の客観的な指標は気象庁ホームページで公表しています。

大津波警報などを特別警報に位置づけます

現象の種類	基 準
津 波	高いところで3メートルを超える津波が予想される場合(大津波警報を特別警報に位置づける)
地 震 (地震動)	震度6弱以上の大きさの地震動が予想される場合 (緊急地震速報(震度6弱以上)を特別警報に位置づける)

特別警報が 発表されたら

- ・ 尋常でない大雨や津波等が予想されています。
- ・ 重大な災害が起こる可能性が非常に高まっています。
- ・ ただちに身を守るために最善を尽くしてください。

詳しくは気象庁ウェブサイトをご覧ください

気象警報・注意報 <https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/bosai/warning.html>

特別警報 <https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/tokubetsu-keiho/>



自らの命、家族の命を守るために！

災害への備え

適時適切な避難を行うために、家族や地域で確認しましょう。

ステップ ① 自宅や学校・職場には、どのような危険があるのか確認しましょう

- このハザードマップを見て、河川が氾濫した場合には何m浸水してしまうのか、土砂災害が起こりやすい場所はないか等、自宅や学校・職場等のよく立ち入る場所には、どのような危険があるのか確認しましょう。
- 避難場所や避難所（P37、38）までの経路や移動手段について計画しておきましょう。



ステップ ② 行政機関から提供される防災情報について確認しましょう

警戒レベルについて 警戒レベルは、水害や土砂災害に備えて住民がとるべき行動をお知らせするために5段階にレベル分けしたもので、厚岸町が避難情報と合わせて出す情報です。

避難情報等 (警戒レベル)				河川水位や雨の情報 (警戒レベル相当情報)	
警戒 レベル	状況	住民がとるべき行動	避難情報等	防災気象情報(警戒レベル相当情報)	
				浸水の情報(河川)	土砂災害の情報(雨)
5	災害発生 又は切迫	命の危険 直ちに安全確保！ ・すでに災害が発生又は切迫している状況です。 命を守る最善の行動をしてください。	緊急安全確保	5 相当 氾濫発生情報	大雨特別警報 (土砂災害)
~~~~~ < 警戒レベル4までに必ず避難！ > ~~~~~					
4	災害の おそれ高い	危険な場所から全員避難 ・災害が発生する恐れが極めて高い状況です。	避難指示	4 相当 氾濫危険情報	土砂災害 警戒情報
3	災害の おそれあり	危険な場所から高齢者等は避難 ・高齢者や障がい者、妊産婦など避難に時間がかかるとされる人は避難してください。 ・高齢者等以外の人も必要に応じ、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。	高齢者等避難	3 相当 氾濫警戒情報 洪水警報	大雨警報
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨・洪水・ 高潮注意報 (気象庁が発表)	2 相当 氾濫注意情報	——
1	今後気象状況 悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報 (気象庁が発表)	1 相当 ——	——

## 大雨、洪水情報に注意して事前避難を心がけましょう

### 避難の呼びかけに注意を

危険が迫ったときには、役場や消防から避難の呼びかけをすることがあります。呼びかけがあった場合、速やかに避難してください。また危険を感じたら自主的に避難をしましょう。



### お年寄りなどの避難に声かけと協力を

お年寄り、子供、病気の人などは、早めの避難が必要です。近所のお年寄りなどの避難に協力しましょう。



### 車での避難は控えましょう

車での避難は緊急車両の通行の妨げとなるだけでなく、交通渋滞をまねき、浸水すると動けなくなります。



### 動きやすい服装で避難を

避難するときは動きやすい服装で2人以上での避難を心がけましょう。また「杖」や「棒」を持って避難すると、マンホールや溝などの深みにはまるのを防ぐことができます。



### 平常時の心得

- 家庭や職場で、避難所・避難経路を確認しておきましょう。
- 避難時の持出品の事前準備をしましょう。
- ご近所と「日常的な交流」を心がけましょう。
- 地域の避難訓練に参加しましょう。

## 自主防災を心がけましょう

災害が発生したとき、それを防いだり被害を最小限に食い止めるためには、自分の家が無事なだけではいけません。住んでいる地域全体が守られて、はじめて自分や家族が安全になれるのです。安全・安心のまちをつくるために、日ごろからコミュニティを大切に、連帯感を深めていく努力が必要です。

### 自分の身は自分で守る

もし、災害に直面しても、救援隊がすぐに来るとは、限りません！

- 大きな災害が発生したとき、地域は次のような状況に見舞われることがあります。
1. 道路が不通になり、防災機関の活動が困難になります。
  2. 電話・水道・電気が止まり、防災機関への通報や消火活動に支障をきたします。
  3. 同時に多数の場所で被害が出て、防災機関の活動が分散します。
- これらのことから各自・各家庭で災害に備えることが重要になってきます。

地域全体を守ることが、自分と家族を守ることにつながる！



### みんなでまちを守る

地域の防災意識が、災害時に命を助けることにつながる。

東日本大震災では、近所の「声かけ」によって多くの方々が救われたと聞きます。このことから地域の皆さんが協力して初期消火・被災者の救出・救助、避難誘導、避難所の運営を行うことにより地域の被害を少なくすることができます。自主防災を心がけ、日ごろから災害に備えた防災活動を展開していきましょう。



災害への備え



# 備蓄品および非常持ち出し品

避難するときに最初に持ち出すのが「非常持ち出し品」。  
災害直後から混乱が収まるまでの数日間、自給自足するための物資が「備蓄品」です。  
以下は一例です。とくに非常持ち出し品は、持って逃げられる量にしましょう。(男性 15kg 女性 10kg が目安)

## 非常持ち出し品(例)

●とっさの場合に持ち出せるようにリュックサック等につめておきましょう。

### 貴重品

- ☐現金
- ☐印鑑
- ☐健康保険証
- ☐免許証
- ☐通帳

### 情報収集用品

- ☐携帯ラジオ
- ☐携帯電話(スマートフォン)の充電器
- ☐モバイルバッテリー
- ☐筆記用具
- ☐予備の電池

### 非常飲食品など

- ☐非常食 ※軽く高カロリーのもの
- ☐飲料水
- ☐給水袋
- ☐万能ナイフ
- ☐缶切り

### 衛生用品

- ☐救急セット ※常備薬も
- ☐タオル
- ☐マスク
- ☐消毒液
- ☐体温計
- ☐トイレットペーパー
- ☐ウェットティッシュ
- ☐ビニール袋
- ☐使い捨て手袋
- ☐携帯用トイレ
- ☐衣類(下着・上着など)

### 安全用品

- ☐懐中電灯
- ☐ヘルメット ☐防災ずきん
- ☐軍手
- ☐スリッパ
- ☐マッチ ☐ライター

### 冬の備え

- ☐毛布 ☐保温シート
- ☐使い捨てカイロ
- ☐防寒具(帽子、手袋など)
- ☐冬用の衣類(厚手の靴下など)



## 備蓄品(例)

●少なくとも3日(できれば1週間)は自力で生活できるように準備

- ☐飲料水 ※1人1日3ℓ
- ☐食品 ※アルファ米、長期保存食品など
- ☐給水用ポリタンク ☐バケツ
- ☐カセットコンロ ☐ガスボンベ
- ☐使い捨ての食器類
- ☐食品用ラップ
- ☐ランタン
- ☐災害用トイレセット
- ☐からだ拭きシート
- ☐水のいらないシャンプー
- ☐ガムテープ
- ☐ビニールシート



- 上記リストを参考に、特に乳幼児用品、高齢者用品等、災害時に配慮すべき方の用品も、家族構成に合わせて追加しましょう。
- 備蓄品は、いざというときに支障がないように、定期的に点検しましょう。

## ローリングストックについて

普段から少し多めに食料品や日用品を買っておき、使った分だけ新しく買い足して、常に一定量の備蓄を自宅に確保しておくことをローリングストックと言います。

一例

ペットボトルの水や飲み物、レトルト食品、インスタント食品、お菓子、乾麺、缶詰、カセットコンロのボンベ、ウェットティッシュ、トイレットペーパー、食品用ラップ、ビニール袋、乾電池、使い捨てカイロなど

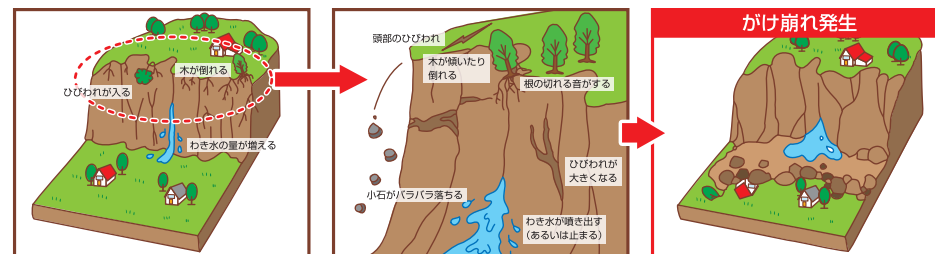


# 土砂災害について

## 土砂災害の種類

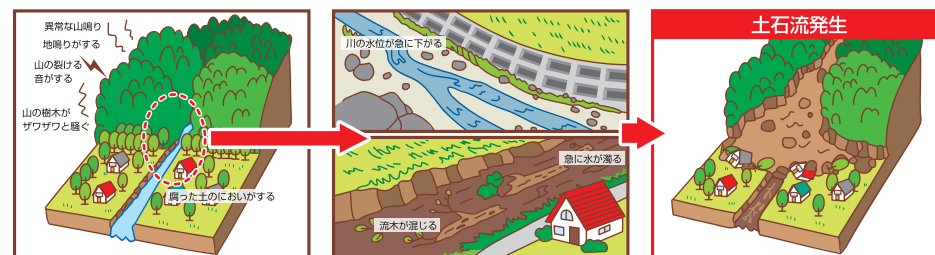
### がけ崩れ

雨や地震などの影響によって急激に斜面が崩れ落ちることをいいます。



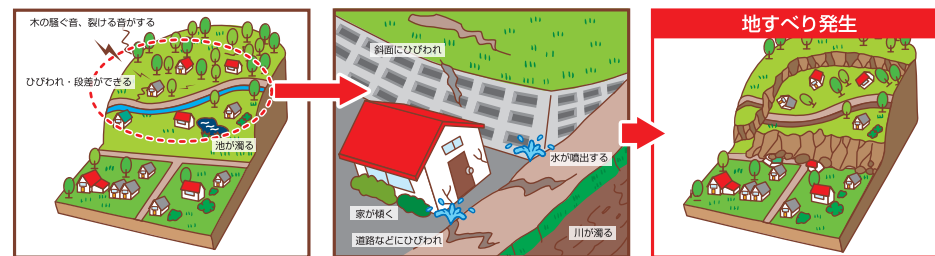
### 土石流

長雨や集中豪雨などによって山から崩れた石や土が、水と一緒になって、一気に下流へと押し流されることをいいます。



### 地すべり

地下水の影響と重力によってやや傾斜のゆるい斜面が、広い範囲にわたって、かたまりのまま移動する現象のことをいいます。



※上記は一般的な前兆現象です。すべての場合において必ず起きるというものではありません。ふだんと違い、少しでも身に危険を感じたら避難するようにしましょう。

## 土砂災害の警戒区域

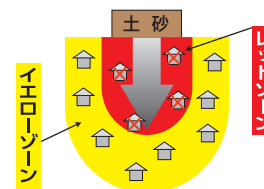
土砂災害防止法に基づき、北海道が調査を実施し、土砂災害のおそれのある区域を以下の通り指定しています。

### 土砂災害 特別警戒区域(レッドゾーン)

建物に破損が生じ、住民に大きな危険が生じるおそれがある区域

### 土砂災害 警戒区域(イエローゾーン)

土砂災害のおそれがある区域



## 避難行動のポイント

土砂災害は突発性が高く、甚大な被害をもたらします。上記の前兆現象は、経験則として土砂災害発生の前に関われるものとして知られていますが、特に警戒区域内においては避難の猶予がほとんどないものと考え、「様子がおかしい」と感じたら、ただちに避難行動をとってください。

- 1 土砂災害警戒区域内、また指定が無くとも「谷の出口」や「がけの下」からは、いち早く避難する。

- 2 指定避難所までの移動が困難な際は、近隣の頑丈な建物の高い階へ避難する。



- 3 外出にも危険が伴う状況で、やむなく自宅に留まる場合は、2階以上の出来るだけ山側から離れた部屋に移動する。

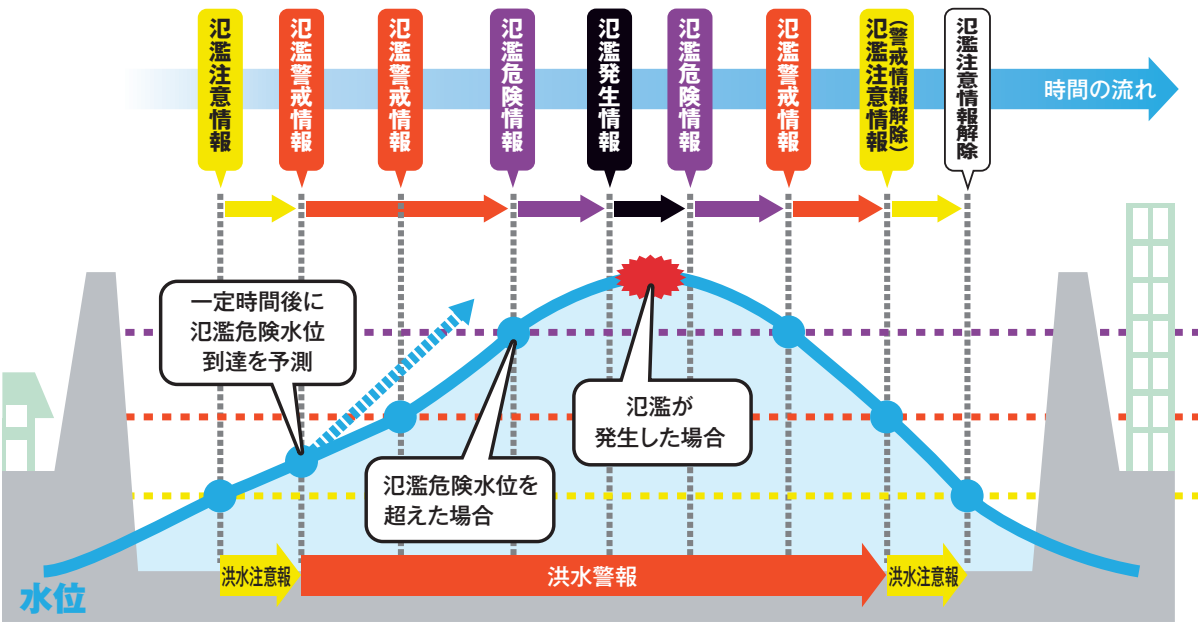


1 洪水浸水想定区域について

- このハザードマップで使用している浸水情報は、水防法の規定により指定された洪水浸水想定区域を示したもので、河川が大雨により氾濫した場合、浸水が予想される区域と浸水の深さを示しています。  
自分の住んでいる地区がどの程度浸水するのか確認してください。
- このハザードマップには、「想定最大規模」の浸水想定区域及び浸水した場合に想定される水深を示しています。
- 雨の降り方によっては、想定とは異なる浸水の深さとなったり、地図に表示された浸水区域以外でも浸水する可能性があります。
- 川が氾濫しない場合でも、低い土地などは浸水被害（床上・床下浸水など）が起こる場合がありますので十分注意してください。

2 河川の危険水位と洪水予報

河川ごとに設定された以下の危険水位に応じ、河川管理者と気象庁から洪水予報が発表されます。厚岸町はこの情報を目安にして、避難に関する情報を発令します。

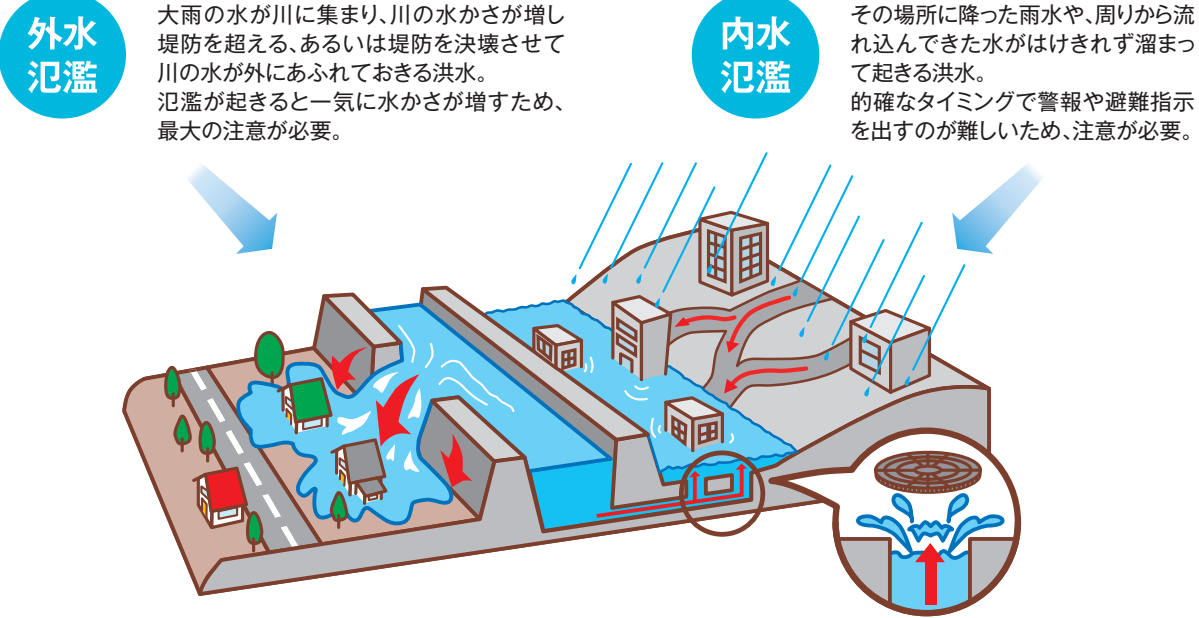


河川名	尾幌川
観測所	尾幌川
氾濫危険水位(レベル4水位)	6.80
避難判断水位(レベル3水位)	6.38
氾濫注意水位(レベル2水位)	5.48
水防団待機水位	4.31

(単位:m)

3 川の氾濫

雨量の増加によってもたらされる氾濫には、川から水があふれたり堤防が決壊して起こる「外水氾濫」と、街中の排水が間に合わず、地下水路などからあふれ出す「内水氾濫」の2タイプがあります。



4 避難行動のポイント、危険な場所

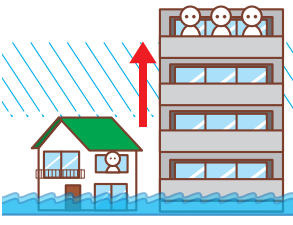
！ 浸水が始まる前に早めの避難を

氾濫水は勢いが強く、大人の膝程度の深さで歩行が困難となる。浸水してから自宅外への避難は危険。気象予報や河川洪水予報などの情報をもとに、身の危険を感じたら自主的に避難を開始する。



！ 状況に応じた避難を

周囲の状況が危険で避難場所まで移動できない場合は、自宅や近隣の頑丈な建物のできるだけ高い階に避難する。移動途中であっても、危険を感じた場合は、近隣の建物のできるだけ高い階に退避する。



！ やむなく浸水の中を歩く際は

裸足、長靴は厳禁。水中で脱げづらい紐靴などが適している。また、氾濫水は濁っているため、水面下が確認できない。長い棒などを杖替わりとし、側溝やマンホール、障害物に注意する。

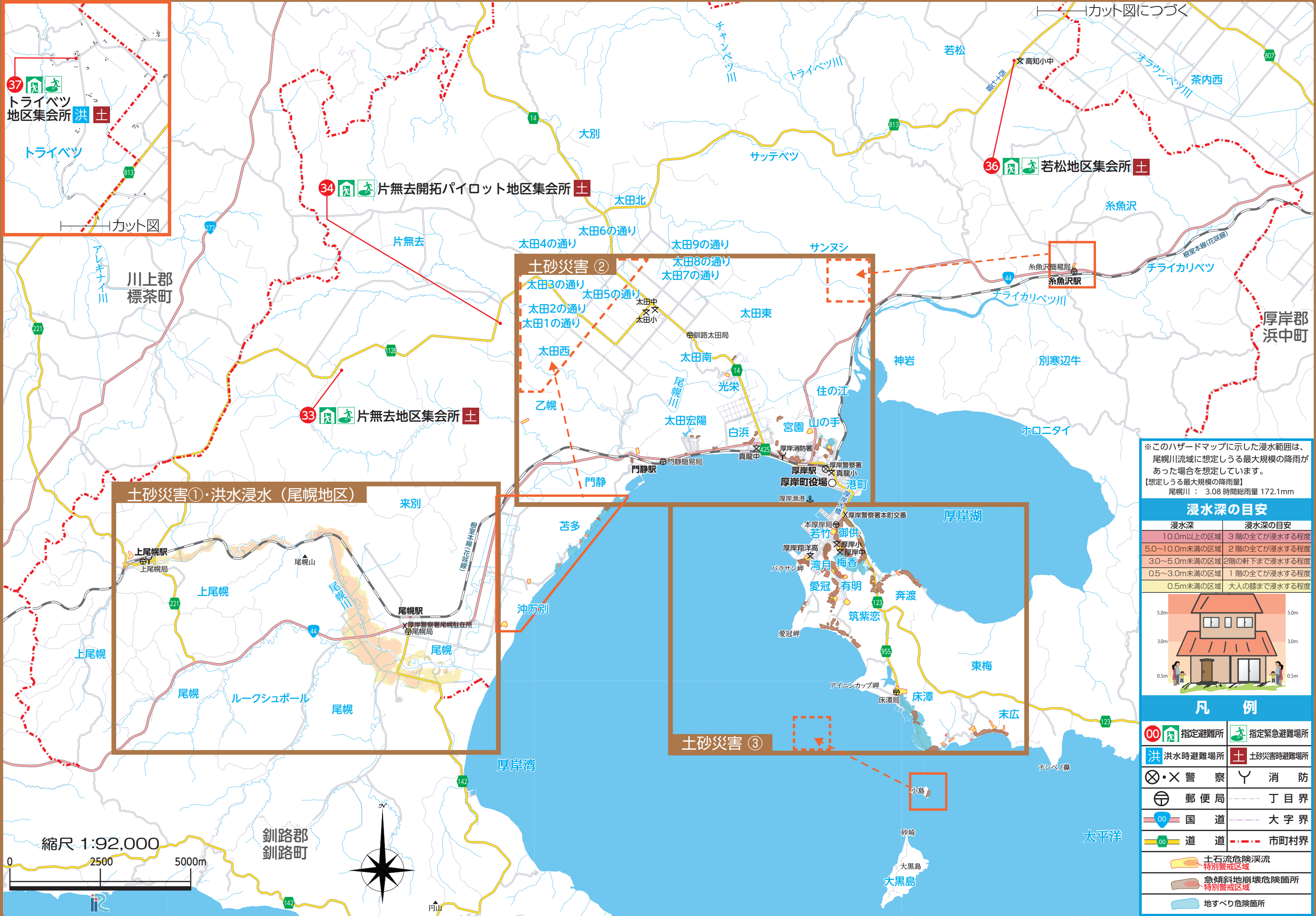


！ 川や用水路に近づかない

降雨が続き不安に思っても、川や用水路、田畑の用水は見に行かない。また、避難の途中も増水した川の近くを通るのは避ける。



(ページ内の図表は気象庁ホームページより抜粋、編集)



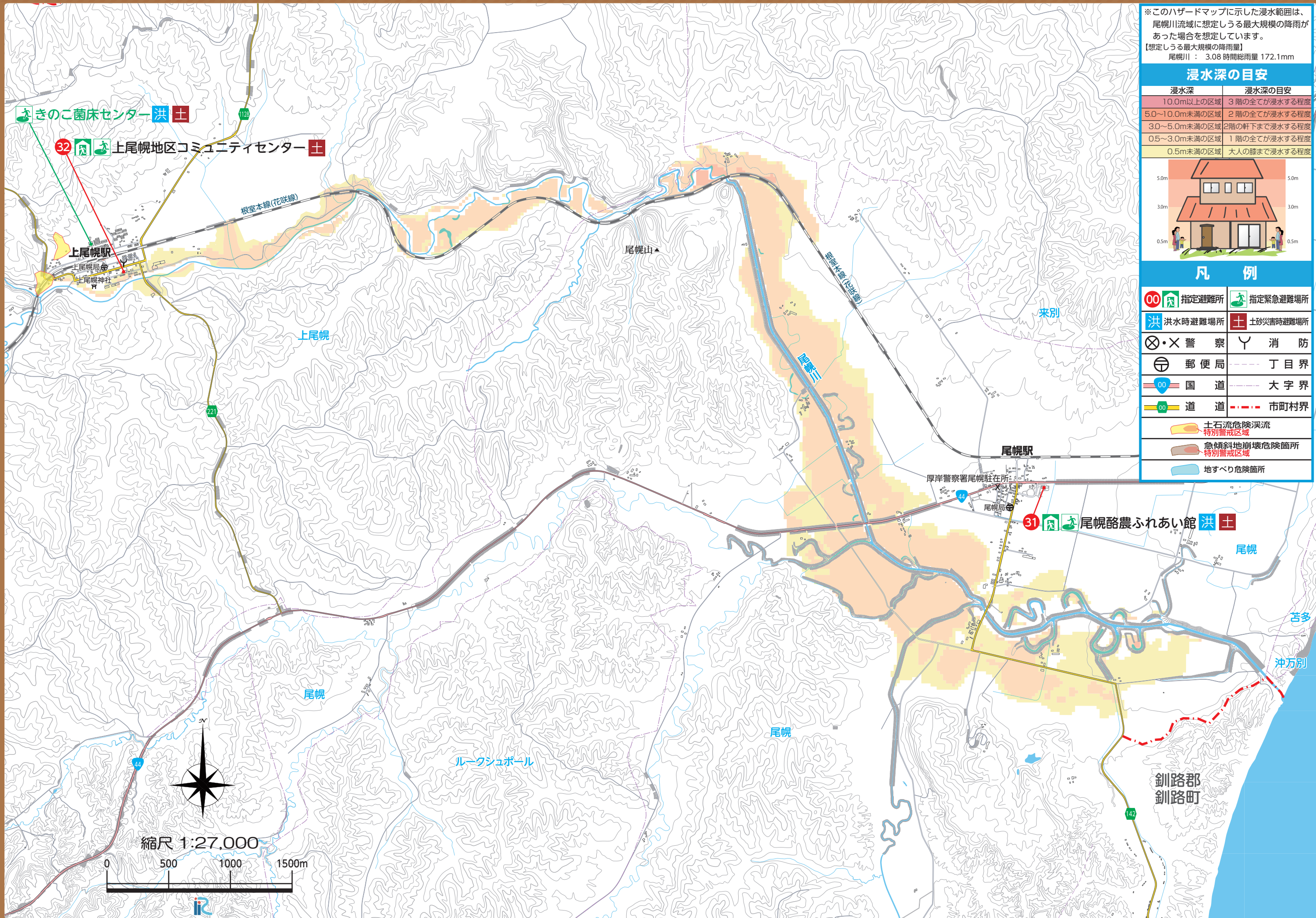
※このハザードマップに示した浸水範囲は、  
尾幌川流域に想定しうる最大規模の降雨が  
あった場合を想定しています。  
【想定しうる最大規模の降雨量】  
尾幌川：3.08時間総雨量172.1mm

浸水深の目安	
浸水深	浸水深の目安
10.0m以上の区域	3階の全てが浸水する程度
5.0～10.0m未満の区域	2階の全てが浸水する程度
3.0～5.0m未満の区域	2階の軒下まで浸水する程度
0.5～3.0m未満の区域	1階の全てが浸水する程度
0.5m未満の区域	大人の膝まで浸水する程度

凡 例	
00指定避難所	指定緊急避難場所
洪水時避難場所	土砂災害時避難場所
警察	消防
郵便局	丁目界
国道	大字界
道	市町村界
土石流危険渓流 特別警戒区域	
急傾斜地崩壊危険箇所 特別警戒区域	
地すべり危険箇所	



# 土砂災害①・洪水浸水(尾幌地区)













地震対策 地震発生!そんなときどうする

地震発生時の時間経過別行動マニュアル

地震発生

緊急地震速報

1~2分

3分

5分

10分

数時間

3日

揺れを感じたり、緊急地震速報を見聞きしたら

●まず、手近な座布団などで頭を保護するなどの避難行動をとる

●大きな揺れが来る前に、テーブルや机の下などで身の安全を確保する

揺れがおさまったら

●火元を確認 火が出たら、落ち着いて初期消火

●家族の安全を確認 倒れた家具の下敷きになっていないかを確認

●靴をはく 家の中はガラスの破片が散乱 靴や厚手のスリッパをはく

●避難するときは、ブロック塀・自動販売機等に注意

みんなの無事を確認 火災の発生を防ぐ

●隣近所で助け合う 要配慮者の安全確保

●行方不明者はいないか ●ケガ人はいないか

●初期消火 ●消火器を使う

●漏電・ガス漏れに注意 ガスの元栓・電気のブレーカーを切る ●余震に注意

ラジオなどで正しい情報を

●大声で知らせる ●救出・救護 ●防災機関、自主防災組織の情報を確認

●デマにまどわされないように ●避難時に車は極力使用しない

●電話は緊急連絡を優先する

協力して消火活動、救出・救護活動を

●災害情報・被害情報の収集 ●無理はやめよう

●助け合いの心が大切 ●こわれた家に入らない

●水、食料は蓄えているものでまかなう (3日間の飲料水と食料の備蓄をしておく)

屋内にいた場合

家の中

●すばやく身の安全を確保する。

●火の使用中に揺れを感じたら、揺れが収まってからあわてずに火の始末をする (コンセントやガスの元栓の処置も忘れずに)。

●お年寄り、子供、病気の人など要配慮者の安全を確保する。

デパート・スーパー

●カバン、買い物かごなどで頭を保護し、柱や壁ぎわに身を寄せ、係員の指示を聞き、落ち着いた行動をとる。

集合住宅

●ドアや窓を開けて避難口を確保する。

●避難にエレベーターは絶対使わない。炎と煙に巻き込まれないように階段を使って避難する。

※エレベーター乗車中は全てのフロアのボタンを押して下さい。

屋外にいた場合

路上

●その場に立ち止まらず、窓ガラス、看板などの落下物から頭をカバンなどで保護して、空き地や公園などに避難する。

●近くに空き地などが無いときは、建物から離れた安全性の高い場所へ移動する。

●ブロック塀や自動販売機には近づかない。

●倒れそうな電柱や垂れ下がった電線に注意する。

車を運転中

●ハンドルをしっかり握り、徐々にスピードを落とし、道路の左側に止め、エンジンを切る。

●揺れがおさまるまで冷静に周囲の状況を確認して、カーラジオで情報を収集する。

●避難が必要なときは、キーはつけたまま、ドアロックもしない。

●車検証などの貴重品を忘れずに持ち出し、徒歩で避難する。

電車などの車内

●つり革や手すりに両手でしっかりつかまる。

●乗務員の指示に従って落ち着いた行動をとる。

地震の震度表

震度	人の体感・行動	屋内の状況	屋外の状況
4	●歩いている人のほとんどが揺れを感じる。 ●眠っている人のほとんどが目覚める。	●電灯などの吊り下げ物は大きく揺れ、棚にある食器類は音を立てる。 ●すわりの悪い置物が倒れることがある。	●電線が大きく揺れる。 ●自動車を運転していて揺れに気づく人がいる。
5弱	●大半の人が恐怖を覚え、物につかまりたいと思う。 	●電灯などの吊り下げ物は激しく揺れ、棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。 ●すわりの悪い置物の大半が倒れる。 ●固定していない家具が移動することがあり、不安定な物は倒れることがある。	●まれに窓ガラスが割れて落ちることがある。 ●電柱が揺れるのがわかる。 ●道路に被害が生じることがある。
5強	●大半の人が物につかまらなさと歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。	●棚にある食器類や書棚の本で落ちる物がある。 ●テレビが台から落ちることがある。 ●固定していない家具が倒れることがある。 	●窓ガラスが割れて落ちることがある。 ●補強されていないブロック塀が崩れることがある。 ●据付けが不十分な自動販売機が倒れることがある。 ●自動車の運転が困難となり、停止する車もある。
6弱	●立っていることが困難になる。 	●固定していない家具の大半が移動し、倒れる物がある。 ●ドアが開かなくなることがある。	●壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。 
6強	●立っていることが出来ず、はわないと動くことが出来ない。	●固定していない家具のほとんどが移動し、倒れる物が多くなる。 	●壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する建物が多くなる。 ●補強されていないブロック塀のほとんどが崩れる。
7	●揺れに翻弄され、動くことも出来ず、飛ばされることもある。	●固定していない家具のほとんどが移動したり倒れたりし、飛ぶことがある。	●壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する建物がさらに多くなる。 ●補強されているブロック塀も破損する物がある。

地震・津波

地震・津波



津波対策について

津波から命を守るためには、  
「強い揺れ、弱くてもゆっくりとした長い揺れを感じたら」・・・すぐに避難！！  
「揺れが無くても津波警報を見聞きしたら」・・・すぐに避難！！



津波警報・注意報

津波による災害の発生が予想される場合には、地震発生後、約3分で大津波警報、津波警報または津波注意報を発表します。その後「予想される津波の高さ」、「津波の到達予想時刻」等の情報を発表します。

マグニチュード8を超えるような巨大地震の場合  
「巨大」という言葉を使った大津波警報で、非常事態であることを伝えます



「巨大」という言葉を見たり聞いたりしたら、東日本大震災クラスの津波が来ると  
思って、ただちにより高い場所に避難しましょう！

正確な地震の規模が分かった場合  
予想される津波の高さを、1m、3m、5m、10m、10m超の5段階で発表します



「津波の高さ」は津波がない場合の海面からの高さです。津波が陸上で崖など  
を駆け上った高さは、津波の高さの何倍にも達することがあります。

津波に関する情報

津波警報の発表後、沖合や沿岸の観測点で観測した津波の高さや到達時刻を発表します。

●高い津波が来る前は、津波の高さを「観測中」として発表します。

津波警報・注意報の分類と、とるべき行動

種類	発表基準	発表される津波の高さ		想定される被害と 取るべき行動
		数値での発表 (津波の高さ予想の区分)	巨大地震の 場合の発表	
大津波警報	予想される津波の高さが 高いところで3mを超える場合。	10m超 (10m<予想高さ)	巨大	木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き 込まれます。 沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台など安全な 場所へ避難してください。
		10m (5m<予想高さ≤10m)		
		5m (3m<予想高さ≤5m)		
津波警報	予想される津波の高さが高いところで 1mを超え、3m以下の場合。	3m (1m<予想高さ≤3m)	高い	標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生し ます。人は津波による流れに巻き込まれます。 沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台など安全な 場所へ避難してください。
津波注意報	予想される津波の高さが高いところで 0.2m以上、1m以下の場合であって、 津波による災害のおそれがある場合。	1m (0.2m≤予想高さ≤1m)	(表記しない)	海の中では人は速い流れに巻き込まれ、また、養殖い かだが生流し小型船舶が転覆します。 海の中にいる人はただちに海から上がって、海岸から 離れてください。

(ページ内の図表は気象庁ホームページより抜粋、編集)

津波からの避難

地震の揺れを感じたら！

- ・強い地震だけではなく、弱い地震  
であっても。
- ・長時間の地震を感じたときも。

津波警報・注意報がでたら！

避難情報がでたら！

正しい情報の入手  
(テレビ・ラジオ・防災行政無線など)

必要があれば  
ただちに避難！

ただちに避難！

安全な場所へ  
(指定の緊急避難場所へ)  
・海岸にいる人は、  
近くの高いところへ

津波の特性と避難行動のポイント

水辺からすぐに離れる

津波注意報であっても水辺は危険。  
ただちに海岸や川べりから離れる。



津波の速度は速い

津波の速度は非常に早く、目に見えて  
から逃げるのでは間に合わない。



避難したら戻らない

津波警報・注意報が解除され安全が  
確認されるまでは避難を継続する。



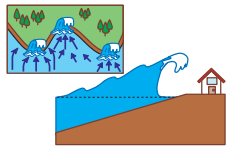
津波は何度も来る

津波は繰り返し襲ってくる。  
後から来る津波の方が高くなることも  
ある。



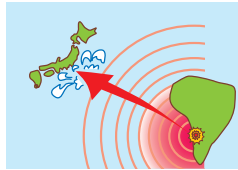
津波は場所により高くなる

津波は沿岸に近づき水深が浅くなる  
ほど、急激に高くなる。また、海岸の地  
形などの影響で局所的に高くなる。



津波は遠くからも来る

津波は遠方の地震等によって発生す  
ることもある。日本近海の地震が伴わ  
ない津波警報・注意報にも注意する。



冬の津波

冬の津波は、雪や氷などの様々な漂流物とともに押し寄せ、気温や海水温が低いことにより凍結  
の可能性があることから、津波の被害が拡大する要素となっています。

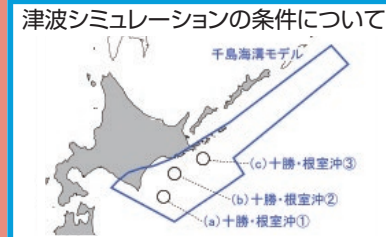
冬は積雪や凍結のため歩きにくくなっていることや、歩道や道路の道幅が狭くなっていることな  
どから、普段よりも避難に時間を要することが予想されます。津波警報などが発表された場合は、安  
全な場所への早めの避難行動が大切です。





津波災害警戒区域(基準水位)の目安

基準水位	基準水位の目安
10.0m以上の区域	3階の全てが浸水する程度
5.0～10.0m未満の区域	2階の全てが浸水する程度
3.0～5.0m未満の区域	2階の軒下まで浸水する程度
0.5～3.0m未満の区域	1階の全てが浸水する程度
0.5m未満の区域	大人の膝まで浸水する程度



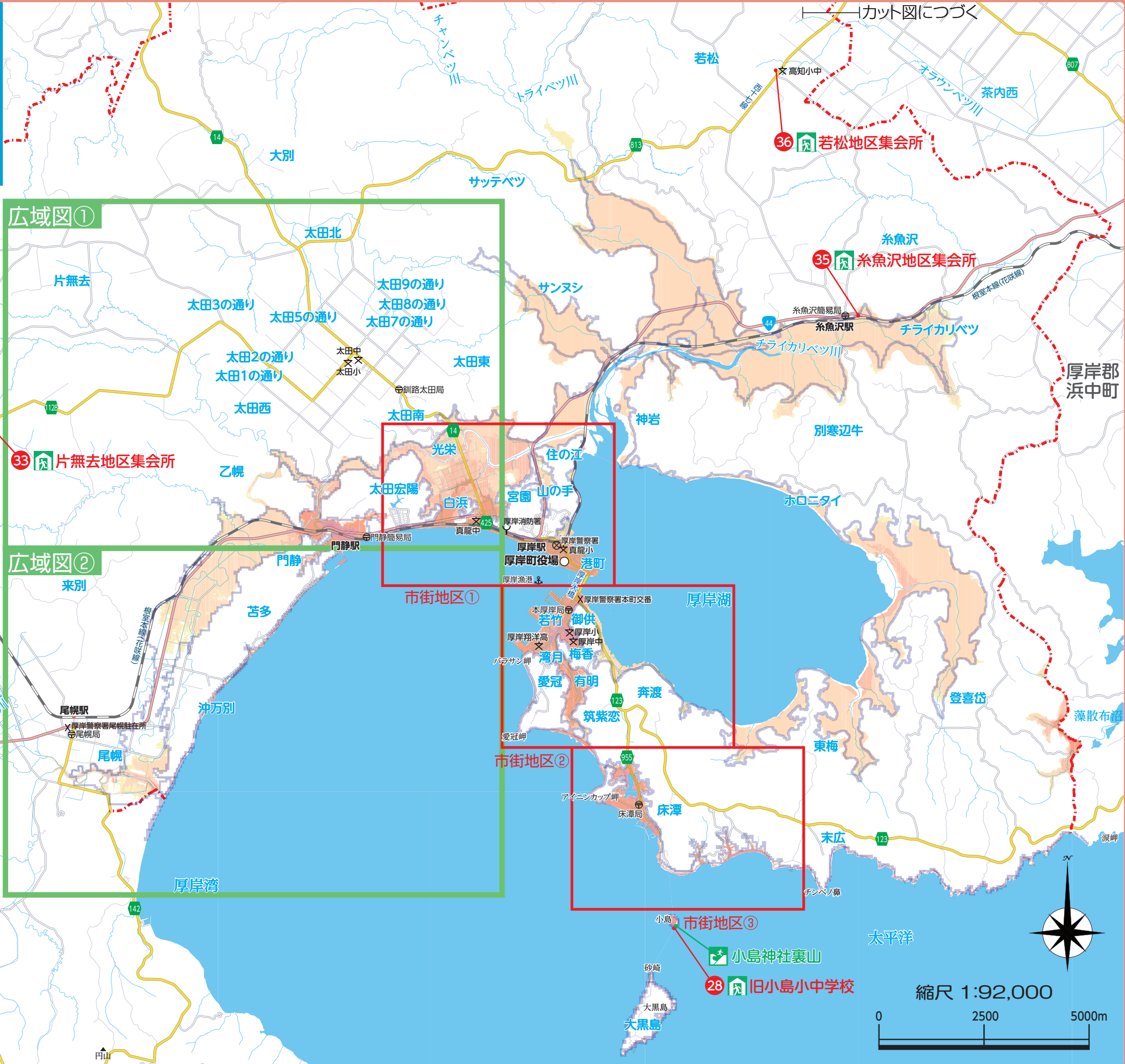
国の巨大地震モデル検討会により設定された津波断層モデル(千島海溝モデル)の想定地震津波を選定。

【計算条件】

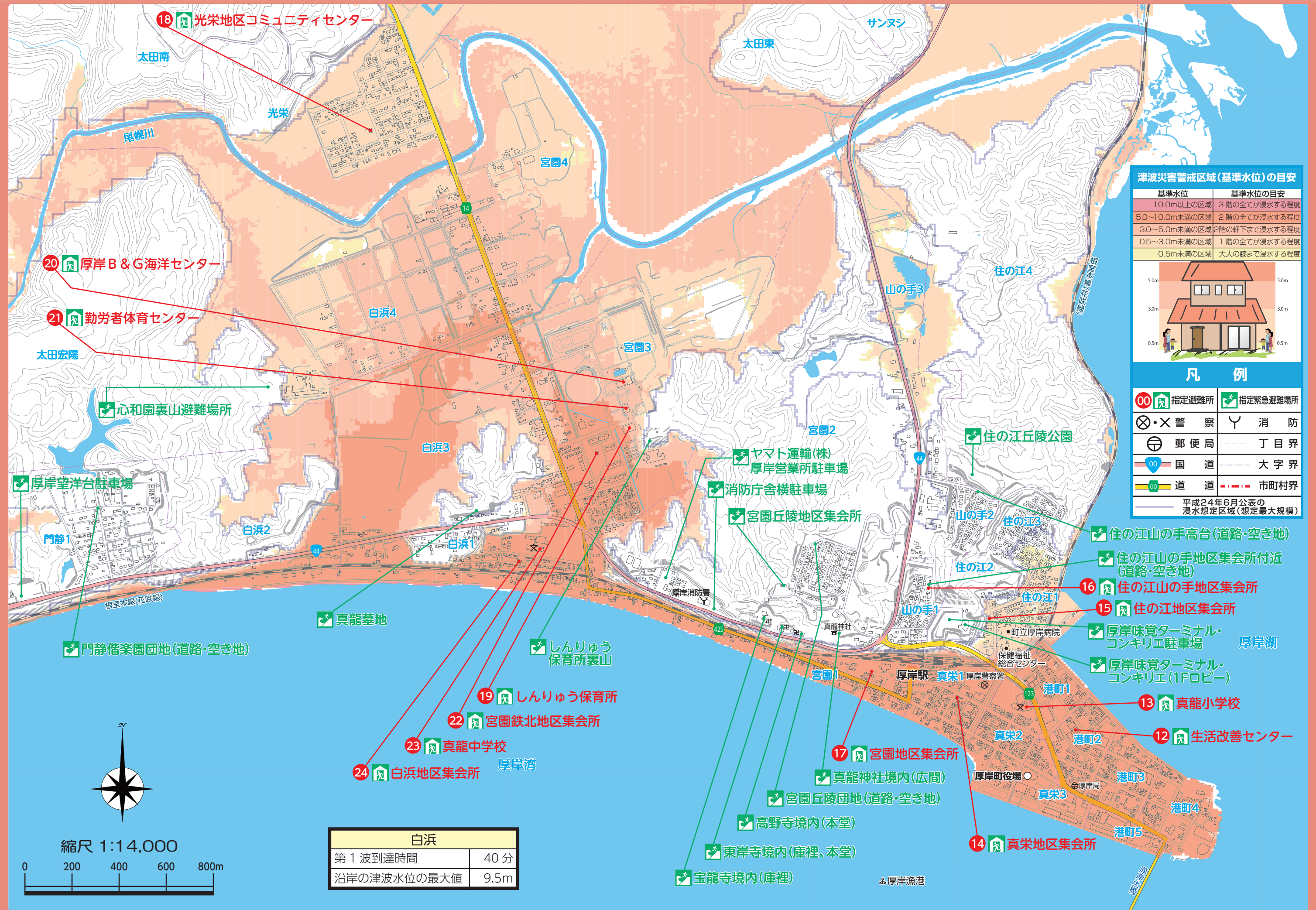
- 十勝・根室沖において最大クラス(マグニチュード9.3)の地震発生を想定
- 水位…海域・河川域ともに朔望平均満潮位(※)
- ※新月・満月の日の前2日後4日に観測された各月の最高満潮位の平均値
- 地殻変動…海域は隆起・沈降を考慮、陸域は沈降のみを考慮
- 構造物…津波により破壊されたものとし、破壊後の形状は無し

凡 例

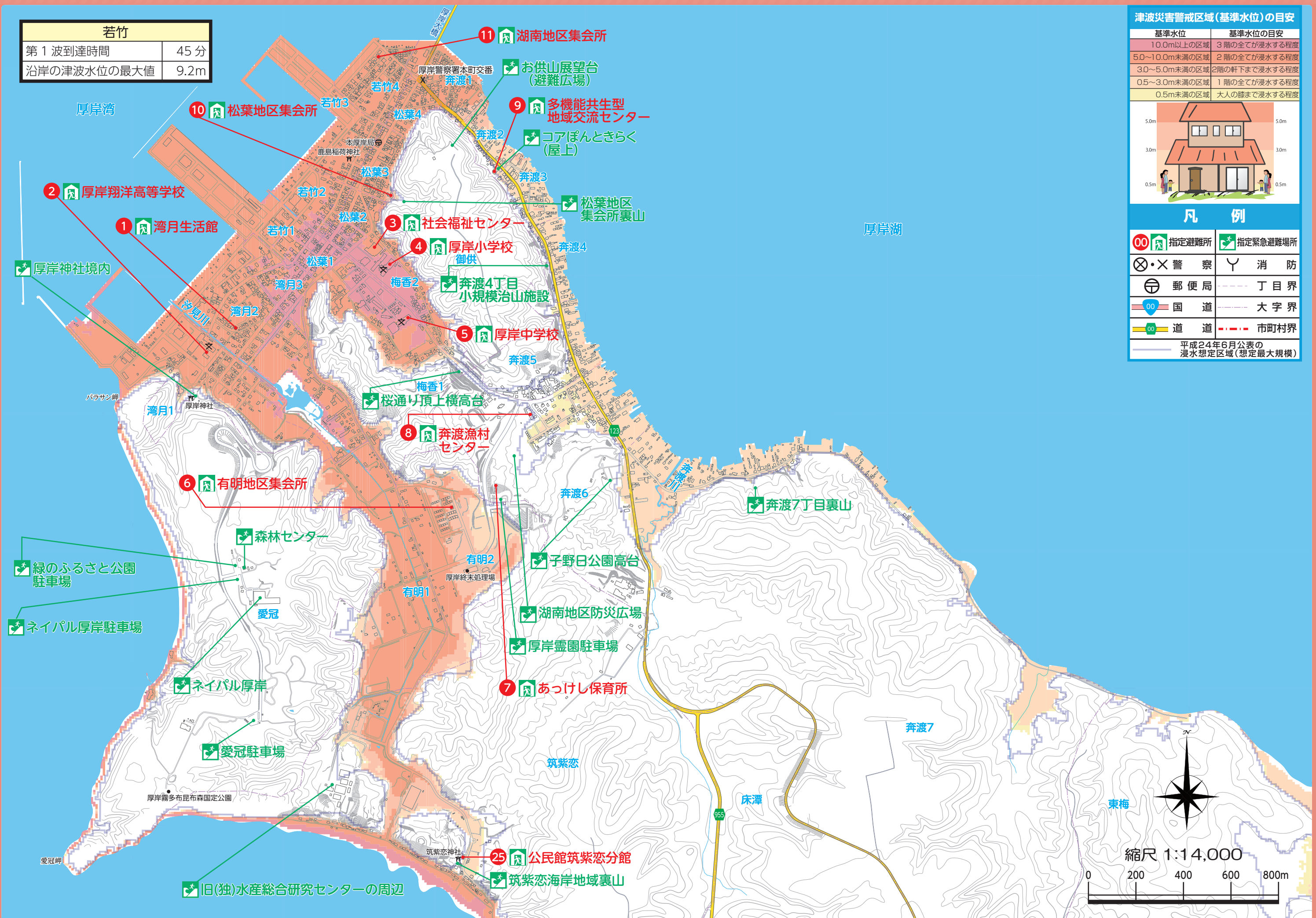
00 指定避難所	指定緊急避難場所
警察	消防
郵便局	丁目界
国道	大字界
道道	市町村界
平成24年6月公表の浸水想定区域(想定最大規模)	



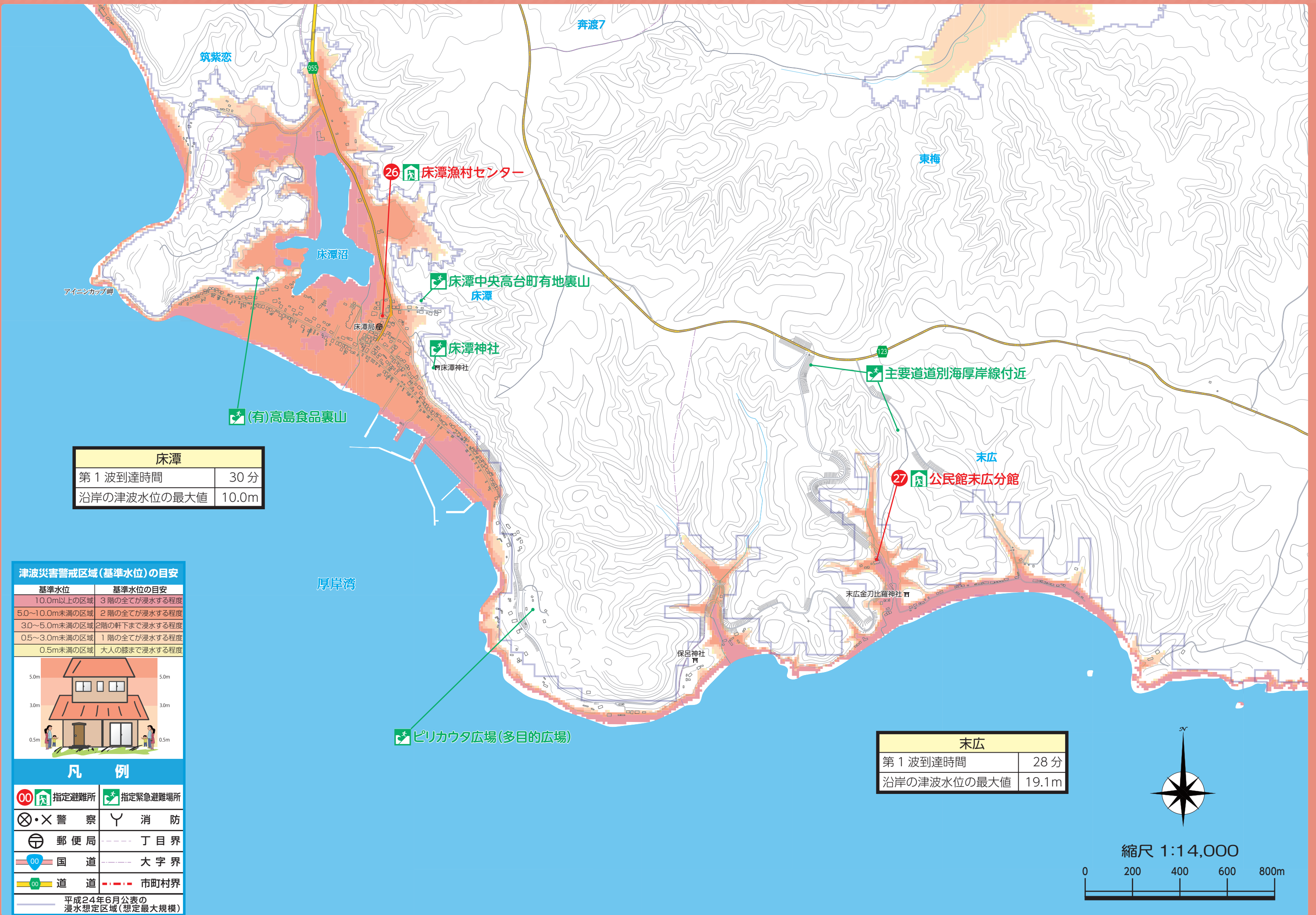






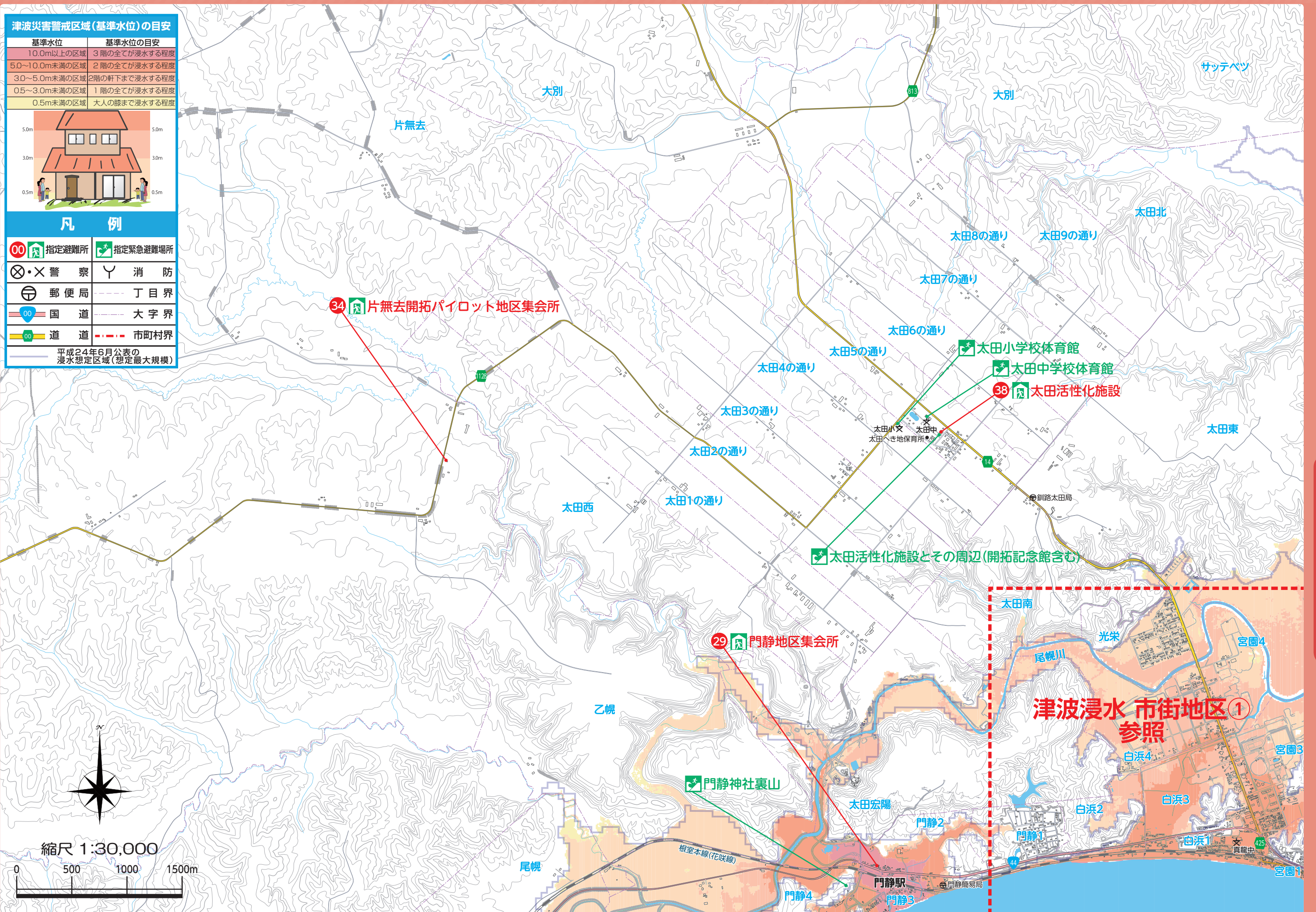




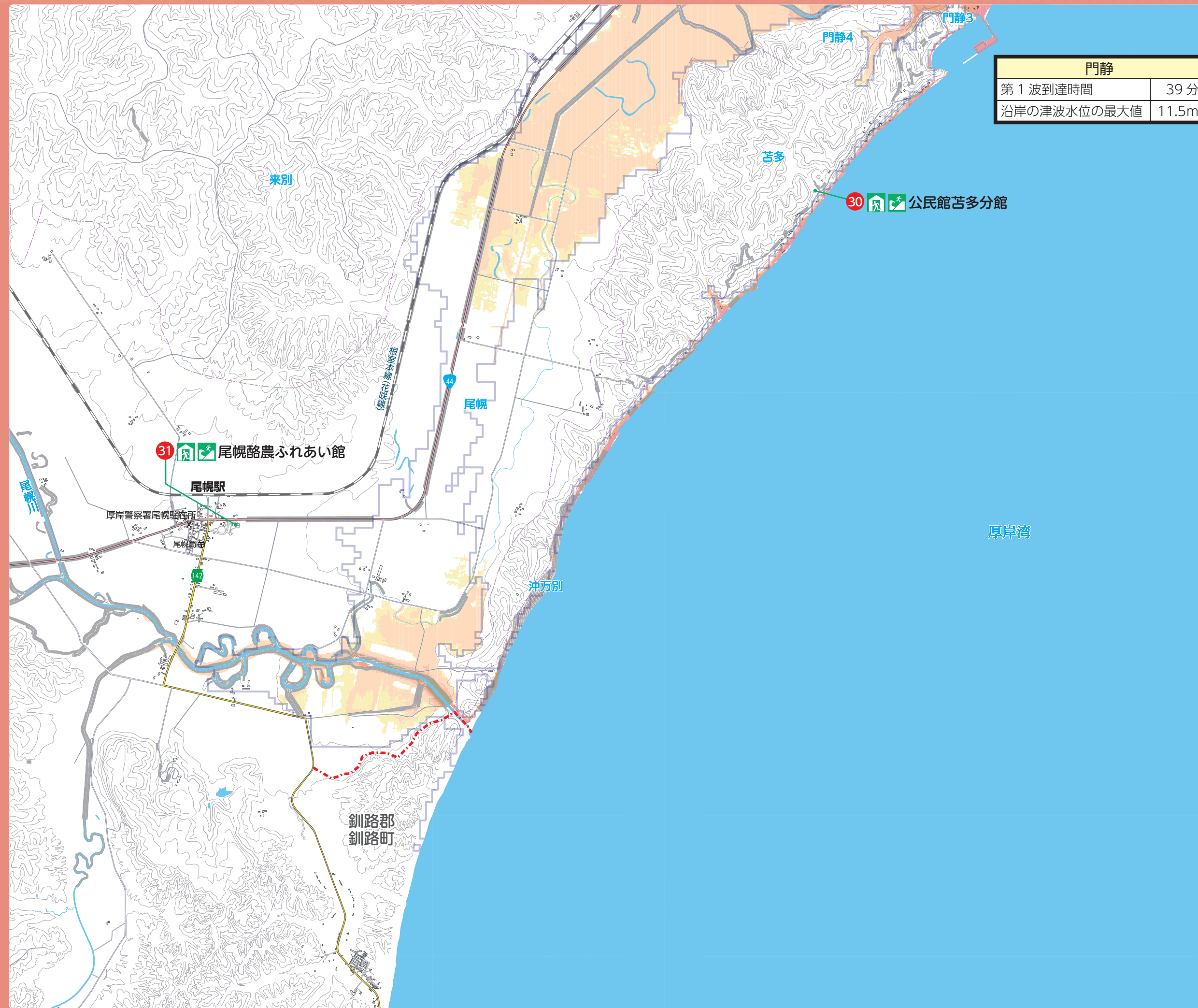




# 津波浸水 広域図①



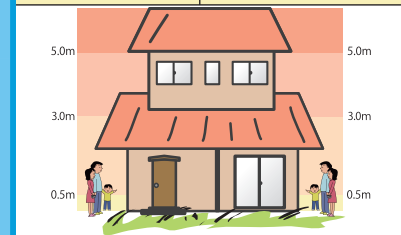




門静	
第1波到達時間	39分
沿岸の津波水位の最大値	11.5m

津波災害警戒区域(基準水位)の目安

基準水位	基準水位の目安
10.0m以上の区域	3階の全てが浸水する程度
5.0～10.0m未満の区域	2階の全てが浸水する程度
3.0～5.0m未満の区域	2階の軒下まで浸水する程度
0.5～3.0m未満の区域	1階の全てが浸水する程度
0.5m未満の区域	大人の膝まで浸水する程度



凡 例

00指定避難所	指定緊急避難場所
警察	消防
郵便局	丁目界
国道	大字界
道道	市町村界

平成24年6月公表の  
浸水想定区域(想定最大規模)



縮尺 1:30,000





# 避難施設一覧

## 避難施設の種類

指定緊急避難場所	災害発生後の一時避難場所として、学校のグラウンド・公園・公共施設などを指定しています。
指定避難所	災害による家屋の倒壊などで、居住場所を確保できなかった人たちの収容保護を目的として、物資の運搬・集積・炊事・宿泊などの利便性を考慮したうえで、学校・集会所・公共建築物などを指定しています。

## 指定緊急避難場所一覧

施設・場所名	住所	対象とする災害の種類			
		洪水	土砂災害	地震	津波
厚岸翔洋高等学校	湾月 1 丁目 20 番地			○	
社会福祉センター	梅香 2 丁目 1 番地	○		○	
厚岸小学校	梅香 2 丁目 3 番地	○		○	
厚岸中学校	梅香 1 丁目 5 番地	○		○	
有明地区集会所	有明 2 丁目 1 番地	○		○	
あっけし保育所	奔渡 6 丁目 268 番地	○	○	○	
奔渡漁村センター	奔渡 6 丁目 1 番地	○			
多機能共生型地域交流センター	奔渡 2 丁目 1 番地	○		○	
松葉地区集会所	松葉 3 丁目 1 番地			○	
湖南地区集会所	若竹 4 丁目 1 番地	○	○	○	
生活改善センター	港町 2 丁目 1 番地	○	○		
真龍小学校	真栄 2 丁目 1 番地	○	○	○	
真栄地区集会所	真栄 1 丁目 1 番地		○		
住の江地区集会所	住の江 2 丁目 1 番地	○			
住の江山の手地区集会所	山の手 1 丁目 1 番地	○	○	○	
宮園地区集会所	宮園 1 丁目 2 番地	○	○		
光栄地区コミュニティセンター	光栄 1 番地		○	○	
しんりゅう保育所	宮園 3 丁目 11 番地	○	○	○	
厚岸 B & G 海洋センター	宮園 3 丁目 7 番地	○	○		
勤労者体育センター	宮園 3 丁目 8 番地	○	○		
宮園鉄北地区集会所	宮園 3 丁目 5 番地	○	○	○	
真龍中学校	白浜 1 丁目 5 番地	○	○	○	
白浜地区集会所	白浜 1 丁目 1 番地	○	○	○	
公民館筑紫恋分館	筑紫恋 32 番地 3	○		○	
床潭漁村センター	床潭 133 番地 1			○	
公民館末広分館	末広 85 番地 1	○			
旧小島中学校	小島 5－8	○			
門静地区集会所	門静 2 丁目 1 番地		○	○	
上尾幌地区コミュニティセンター	上尾幌 11 番地		○	○	
きのご蘭床センター	上尾幌 3 番地	○	○	○	
片無去地区集会所	片無去 2 番地		○		
片無去開拓パイロット地区集会所	片無去 1 番地		○		
糸魚沢地区集会所	糸魚沢 66 番地		○	○	
若松地区集会所	若松 103 番地		○	○	
トライベツ地区集会所	トライベツ 170 番地 1	○	○	○	
太田活性化施設	太田 5 の通り 21 番地 22	○	○	○	
厚岸味覚ターミナル・コンキリエ駐車場	住の江 2 丁目 2 番				○
厚岸味覚ターミナル・コンキリエ（1 F ロビー）	住の江 2 丁目 2 番地				○
真龍神社境内（広間）	宮園 2 丁目 7 番地				○
高野寺境内（本堂）	宮園 2 丁目 6 番地				○
東岸寺境内（庫裡、本堂）	宮園 2 丁目 3 番地				○
宝龍寺境内（庫裡）	宮園 2 丁目 2 番地				○
消防庁舎横駐車場	宮園 2 丁目 60 番				○
住の江山の手地区集会所付近（道路・空き地）	山の手 1 丁目 6 番 外				○
住の江山の手高台（道路・空き地）	山の手 2 丁目 77 番				○
住の江丘陵公園	住の江 4 丁目				○
宮園丘陵地区集会所	宮園 2 丁目 1 番地				○
宮園丘陵団地（道路・空き地）	宮園 2 丁目 1 番 外				○
しんりゅう保育所裏山	宮園 3 丁目 8 番				○
真龍墓地	白浜 3 丁目 4 番				○
太田活性化施設とその周辺（開拓記念館含む）	太田 5 の通り 23 番				○
太田小学校体育館	太田 4 の通り 32 番地 1				○
太田中学校体育館	太田 5 の通り 27 番地 1				○
心和園裏山避難場所	太田宏陽 1 番				○
ヤマト運輸(株)厚岸営業所駐車場	宮園 2 丁目 24・25 番地				○

施設・場所名	住所	対象とする災害の種類			
		洪水	土砂災害	地震	津波
厚岸望洋台駐車場	門静 1 丁目 1 番				○
門静偕楽園団地（道路・空き地）	門静 1 丁目 412 番				○
門静神社裏山	門静 4 丁目				○
公民館苫多分館	苫多 206 番地	○		○	○
尾幌酪農ふれあい館	尾幌 124 番地	○	○	○	○
愛冠駐車場	愛冠 6 番				○
緑のふるさと公園駐車場	愛冠 5 番				○
森林センター	愛冠 5 番地				○
ネイバル厚岸駐車場	愛冠 6 番				○
ネイバル厚岸	愛冠 6 番地				○
厚岸神社境内	湾月 1 丁目 3 番地				○
松葉地区集会所裏山	御供 1 番 7				○
お供山展望台（避難広場）	御供 51 番				○
桜通り頂上横高台	梅香 1 丁目 5 番				○
コアぼんとさらく（屋上）	奔渡 2 丁目 1 番地				○
奔渡 4 丁目小規模治山施設	奔渡 4 丁目 109 番地				○
子野日公園高台	奔渡 6 丁目 10 番				○
湖南地区防災広場	奔渡 6 丁目 266 番				○
奔渡 7 丁目裏山	奔渡 7 丁目 165 番				○
厚岸霊園駐車場	有明 2 丁目 4 番				○
旧（独）水産総合研究センターの周辺	筑紫恋 2 番 外				○
筑紫恋海岸地域裏山	筑紫恋 33 番 外				○
床潭神社	床潭 350 番 2 外				○
床潭中央高台町有地裏山	床潭 142 番 9				○
ピリカウタ広場（多目的広場）	床潭 350 番 7 外				○
（有）高島食品裏山	床潭 53 番 1				○
主要道道別海厚岸線付近	末広				○
小島神社裏山	小島				○

## 指定避難所一覧

NO	施設名	住所	電話番号
1	湾月生活館	湾月 2 丁目 1 番地	0153-52-4988
2	厚岸翔洋高等学校	湾月 1 丁目 20 番地	0153-52-3195
3	社会福祉センター	梅香 2 丁目 1 番地	0153-52-7752
4	厚岸小学校	梅香 2 丁目 3 番地	0153-52-3016
5	厚岸中学校	梅香 1 丁目 5 番地	0153-52-2108
6	有明地区集会所	有明 2 丁目 1 番地	0153-52-4245
7	あっけし保育所	奔渡 6 丁目 268 番地	0153-52-7254
8	奔渡漁村センター	奔渡 6 丁目 1 番地	0153-52-7547
9	多機能共生型地域交流センター	奔渡 2 丁目 1 番地	0153-52-0510
10	松葉地区集会所	松葉 3 丁目 1 番地	0153-52-8820
11	湖南地区集会所	若竹 4 丁目 1 番地	0153-52-7734
12	生活改善センター	港町 2 丁目 1 番地	0153-52-4151
13	真龍小学校	真栄 2 丁目 1 番地	0153-52-2113
14	真栄地区集会所	真栄 1 丁目 1 番地	0153-52-4995
15	住の江地区集会所	住の江 2 丁目 1 番地	0153-52-2507
16	住の江山の手地区集会所	山の手 1 丁目 1 番地	0153-52-3131
17	宮園地区集会所	宮園 1 丁目 2 番地	0153-52-4539
18	光栄地区コミュニティセンター	光栄 1 番地	0153-52-4835
19	しんりゅう保育所	宮園 3 丁目 11 番地	0153-52-3035
20	厚岸 B & G 海洋センター	宮園 3 丁目 7 番地	0153-52-7785
21	勤労者体育センター	宮園 3 丁目 8 番地	0153-52-3841
22	宮園鉄北地区集会所	宮園 3 丁目 5 番地	0153-52-6117
23	真龍中学校	白浜 1 丁目 5 番地	0153-52-3211
24	白浜地区集会所	白浜 1 丁目 1 番地	0153-52-7859
25	公民館筑紫恋分館	筑紫恋 32 番地 3	0153-52-4402
26	床潭漁村センター	床潭 133 番地 1	0153-52-5912
27	公民館末広分館	末広 85 番地 1	0153-52-5436
28	旧小島中学校	小島 5－8	0153-52-2602（5～11 月のみ）
29	門静地区集会所	門静 2 丁目 1 番地	0153-52-5889
30	公民館苫多分館	苫多 206 番地	0153-52-7286
31	尾幌酪農ふれあい館	尾幌 124 番地	0153-56-2400
32	上尾幌地区コミュニティセンター	上尾幌 11 番地	0153-57-2362
33	片無去地区集会所	片無去 2 番地	0153-57-2455
34	片無去開拓パイロット地区集会所	片無去 1 番地	0153-52-6230
35	糸魚沢地区集会所	糸魚沢 66 番地	0153-55-9035
36	若松地区集会所	若松 103 番地	0153-55-9001
37	トライベツ地区集会所	トライベツ 170 番地 1	0153-55-9140
38	太田活性化施設	太田 5 の通り 21 番地 22	0153-52-7700



# わが家の防災・緊急情報メモ



災害時・緊急時の連絡先などの情報をまとめておきましょう。

災害時に救助の方や、緊急時に救急隊・医療機関・厚岸町に情報を提供します。

## 緊急情報

### わが家の避難所

施設名	電話番号

### 家族の連絡先

家族の名前	連絡先（勤務先・学校など）	電話番号	携帯電話番号

### 家族の緊急情報・救急メモ

家族の名前	生年月日	血液型	持病・アレルギー	かかりつけ医療機関

【メモ】※書ききれなかった内容や、知ってほしい情報（介護情報・救急隊員への伝言など）をお書きください。

## 緊急連絡先



### 役場

厚岸町役場

☎ 0153-52-3131



### 警察署

厚岸警察署

事件・事故は→ **110**

☎ 0153-52-0110



### 消防署

厚岸消防署

火災と救急・救助は→ **119**

☎ 0153-52-5111



### 医療機関

町立厚岸病院

☎ 0153-52-3145